


鴻巣市議会 会派 自民党

このす自民ニュース

発行日：令和元年10月8日  7号

令和元年度鴻巣市議会9月定例会終了！

平成30年度決算は一般会計 歳入383億9588万7764円、歳出362億3020万6438円を認定しました。このす自民の5名は4つの常任委員会に所属しており、それぞれ詳細に審査した結果すべての議案に賛成いたしました。また、次の3点について賛成討論をいたしました。公共施設の使用料の改定（野本恵司）・令和元年度補正予算（芝寄和好）・平成30年度決算認定（坂本国広）

・**公共施設の使用料改定18議案** 
 これまで公共施設の使用料の改定は、これまで議会でも明確な基準について議論されてきました。それを受けて、8月には「鴻巣市使用料等の適正化に関する基本方針」が定められました。

公共施設の使用料は、本来の受益者負担の原則に基づいた適正な料金に見直し、持続可能な公共サービスの提供を行う必要があります。施設の利用形態により計算式に当てはめて算出しますが、急激な利用者負担増がないように上限を定めるなど、多方面からチェックしています。また、近隣市との比較においても大幅な差異がないことも配慮されています。具体的な使用料の計算について議会で審査し、適正であることを認めました。

中屋敷県議を通じて県への要望事項！

- ◆野通川の護岸整備
- ◆鴻巣駅通り周辺の中山道拡幅
- ◆箕田産業団地造成事業の早期進捗
- ◆県道各所の舗装修繕、除草 

合併特例債終了に向けての財政計画について！



代表

のもと けいじ
野本 恵司

来年度は合併から15年で、借入の7割が交付税算入される有利な合併特例債は終了となります。残り1年の間に合併特例債を有効に利用する方針を問いました。それに対し合併特例債の発行可能残額は16億6千万円を見込んでおり、最大限活用していくとの回答でした。

しかし、合併時に掲げた事業計画の中には川里中央公園拡張事業・共和箕田線整備事業・吹上駅南口線街路改良事業など未完了のものもあり、合併特例債終了後どのように財源を確保するかが課題となります。未達成の合併特例事業には様々な困難要因があるため、現段階での予算化は難しいと考えられますが、市は今後も継続的に事業進捗を図り、より有利な財源確保に努めていく考えを示しました。



笠原小学校存続のために！



さかもと あきら
坂本 晃

数年後に入学する児童が極端に減少すると言われていた笠原小学校の存続に向けて、市行政の考えを確認いたしました。

現時点では廃校は決まっていないという答えでした。今後入学する児童の保護者や教育委員の意見を聞き対応することとなります。

複式学級が2クラス（4学年）になった時は小規模学校のメリットよりもデメリットの方が多いとし、廃校を検討することになるということです。小学校がなくなれば、笠原地区に子育て世代が新たに移り住んでくることはほとんどなくなると考えています。笠原地区の発展がない限り、子供が増えることは難しいと考えます。地域の発展は地域の皆さんと行政が一体となって真剣に考えることが大事なことで強く感じました。



虫歯から子供の歯を守るためにフッ化物洗口の推進を!!



とんしょ すみえ
頓所 澄江

子供の虫歯は、確実に減少傾向にあります。一方、歯の健康格差が生じています。子供の健やかな成長には歯科口腔保健の充実が大変に重要です。歯は全身の健康を維持していくための基礎だからです。広田小学校は平成22年度からフッ化物洗口に取り組んでおり、市内で実施している唯一の小学校です。ほとんどの児童が虫歯のない健康な歯を保有しており、その効果は歴然です。フッ化物洗口とは、フッ化物水溶液で1分間ブクブクすることで、虫歯を予防する方法です。歯の表面の質を強くするとともに、できてしまった虫歯の進行も抑制します。家庭での口腔ケアが難しい子供や虫歯の多い子供に焦点を合わせ、各小学校でもフッ化物洗口の取り組みを推進すべきと考えます。教育委員会は、フッ化物洗口の推進も含め校長会等と協議をしていくとのことです。



地域担当職員制度について！



さかもと くにひろ
坂本 国広

行政と市民の関係は、市民がお客様という関係から、市政推進のパートナーとして、市民協働という考え方に変わってきています。市民協働の対象は主に自治会町内会です。現在鴻巣市では、市内を10の地域で市民が主役のまちづくり地域懇談会を開催し、自治会町内会長との連携を図っています。

さらにその取り組みを進化させるため地域担当職員制度の導入について質しました。

地域担当職員制度とは、市民との対話・交流を通じ、地域課題の解決に市民の意向を反映させ、職員の意識をも住民本位に転換させることを目的に、職員を各地域の担当者として配属し、市民とともに地域課題の解決を図る制度です。

地域における様々な活動の担い手不足が深刻な問題となっており、今後もこの制度導入を働きかけていきます。



性的マイノリティ(LGBT)について！



しばさき かずよし
芝寄 和好

3年前の一般質問で、ある保護者からお子様の事で相談があり、LGBTの事を鴻巣議会の中で初めて取り上げました。今回はその後の市の対応と今後の対応を質問いたしました。

日本は主要7か国「G7」の中で唯一同性婚を認めていません。その中、渋谷区は「パートナーシップ条例」を制定いたしました。市町村レベルでも性的マイノリティの方を認める動きが出ています。社会だけでなく、学校の教育現場でもしっかりと伝えなければいけない事でもあります。

すべての誰もが住みやすい街づくり、それが人口減少の歯止めの一つだとも思います。当然これだけでは人口減少は止まりません。しかし近隣市町村がやっていないからこそ取り組んでいく事が必要と考えています。

その他の質問

- ・合併浄化槽設置について
- ・長期休業限定児童クラブについて



自由民主党総務部会長 衆議院議員 2019年10月号
中根かずゆき NEWS



皆さまこんにちは。地元鴻巣市の衆議院議員、中根かずゆきです。暑い夏もようやく一段落し、涼しい風が吹く季節となりました。皆さまはお変わりありませんでしょうか？

昨年10月に内閣府副大臣に任命され、まもなく一年が経とうとしています。この一年間、防災、地方創生、女性活躍の推進と、他にも様々な分野に取り組んでまいりました。その役目上、内閣府や国会にいないければならないことが多く、地元で皆様と触れ合う機会が少なかったことは本当に寂しい一年でしたが、私なりに全力疾走でその勤めを果たすことができたのではないかと考えております。

早速、総務省の各局よりレクを受けています。課題も山積みです。頑張ります！

そしてこのたび、新しく**自民党総務部会長**を拝命いたしました。自民党には課題分野ごとに様々な部門会議（通称：部会）があります。たとえば農林部会、外交部会、厚生労働部会などです。部会において議員は様々な意見交換を行い、集約された意見が国会に提案され、最終的に政府の方針となる…つまり政府の方針に直結した重要な職務となります。



私はかつて「国土交通部会」と「内閣部会」におきまして部会長を経験させていただきました。今回は総務部会です。総務の所管は主に「地方自治」と「情報通信」、「行政管理・評価」の3つに分かれています。付随する様々な分野を勉強できるまたとない機会を与えていただいたと勇躍しております。これからも地元埼玉県のため、日々精進して参る所存でございますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

自由民主党総務部会長
 衆議院議員 中根かずゆき

想いは熱し!!

地域選出議員として、地域と国のパイプ役として活動して参ります。

守ろう！変えよう！想いは、熱し！

野中あつし
 衆議院議員

野中あつしは地域の伝統、文化を守り、魅力を発信するため頑張ります！！



この度、**自民党副幹事長**に就任しました。支えて頂いている方々、地域があつての役職であることを忘れずに働いてまいります。

9月13日、秩父市内の養豚場において豚コレラの疑似患畜が確認されました。9月28日現在、県内で2例が確認されています。

豚コレラは昨年26年ぶりに国内で確認されました。1例目が確認された岐阜県には、当時政務官として私が知事と面会し、県の要望を聞き、また国として支援を約束しました。発生から1年が経過し残念ながら収束せず、ワクチン接種を行えるように指針を変更します。ワクチンを接種することで、輸出に影響が及びますが、豚コレラが収束しない以上やむを得ないと考えます。人口減少社会、少子高齢社会の日本において、海外との

輸出入は積極的に挑戦しなければなりません。しかしながら、日本に存在しない疫病も持ち込んでしまうリスクがあることを豚コレラの発生で再認識しました。改めて水際対策の強化、豚コレラの収束に努めてまいります。

なお、豚コレラは人に対し影響は無いので安心して下さい。



埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき 慎一

県議会
9月定例会開会中!

県議会9月定例会は、9月20日から10月11日までの22日間の予定で、現在行われています。

議案は、新しく知事に就任された大野元裕氏の議員辞職に伴い、参議院埼玉県選挙区選出議員に欠員が生じ、補欠選挙が10月27日に実施されることとなり、その管理執行に要する費用、22億550万7千円（国費とは言え、本来出馬表明時など早く辞職していれば不要な予算）そして、国道140号大滝トンネルの改修や国の進める

「防災・減災、国土強靱化の為に3か年緊急対策」の対象となる緊急性の高い河川拡幅などの実施予算と合わせて、77億685万円の2019年度一般会計補正予算など、11議案が上程され審議の最中です。

チャレンジ通信

「神無月に思う」



12年に一度の亥年の選挙も最終番、明後日10日は参議院埼玉選挙区の補欠選挙が公示されます。3月に始まった選挙イヤーも何とかゴールが見えてきました。新任期も半年を過ぎましたが、やっと落ち着いて様々な課題に取り組める感じがしています。そんな中、本県が直面し即応せねばならないのは、県内秩父地域を中心に発生してしまった豚コレラ対策です。発生後直ちに農林部を中心に防疫方針を決定し実行中であり、一刻も早い封じ込めに向けて、今まさに全力で取り組んでいる最中です。私達も県の努力をしっかりと見守ると共に、24日には、関東近県の自民党県連との連携のもと、党本部にウイルスの感染経路や発生原因の解明、ワクチンの有効な利用法の早期検討などを申し入れました。早期解決に向けて全力で取り組みます。

